

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2021年10月26日

事業所名： エントランス

サービス種類： 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースを確保し、アクリル板やパーテーションを使って、ソーシャルディスタンスに気をつけている	(はい37、どちらともいえない5、いいえ0、わからない6)	密にならないように声を掛けながら現状を維持する
	2 職員の適切な配置	スタッフ1名につき利用者2~3名の支援体制になるように配置 スタッフ16名(正社員4名、非常勤スタッフ12名)	(はい43、どちらともいえない1、いいえ0、わからない4)	適正な配置を継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	チャイムや、絵・写真を使った掲示を使用し、自ら理解して行動できるよう心掛けている	(はい40、どちらともいえない2、いいえ0、わからない6)	子供達に配慮した設備整備を継続する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	利用中は常時換気 利用後は共有スペースのアルコール消毒を実施 子供たちの作品を展示	(はい44、どちらともいえない1、いいえ0、わからない3)	共有スペースの消毒など感染を回避する措置を継続する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日情報を共有するため、前日の振り返りと当日の予定を確認 月1回の正社員MTでは、担当業務の進捗を報告、共有		スタッフ間の情報の共有を継続する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・外部の評価の実施はなし		必要があれば検討をする
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修を非常勤スタッフも含めて周知 参加希望者にはシフトを調整し参加できるように配慮		研修の案内と希望する者への参加の機会を確保する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	本人、家族のニーズを確認、スタッフ間で検討、サービス利用計画を参考に支援計画に反映	(はい48、どちらともいえない0、いいえ0、わからない0)	今後も継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の活動(学習等)に関する目標と、集団活動(コミュニケーション等)に関する目標を設定した支援計画を作成		今後も継続する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	設定をした目標に対して目標を達成するために必要な支援内容を記載	(はい48、どちらともいえない0、いいえ0、わからない0)	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	事前のMTで最近の様子や支援のポイントをスタッフ間で共有 支援計画など子供に関する情報をどのスタッフも確認できる状態にしている	・ご指導、アドバイスをいただいでいて助かります (はい46、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も継続する
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	正社員MTで内容を検討 検討した内容を非常勤を含めたスタッフ全員に周知し実施		今後も継続する
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご利用家族からの相談があった時には、適時対応	(はい42、どちらともいえない4、いいえ0、わからない2)	今後も継続する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	夏休みなどの長期休暇は別に日々の活動とは別に企画し クリスマスなどの季節を感じる行事は内容を検討して実施 コロナ禍の為、調理や飲食を伴う内容は避けている		今後も継続する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	事前のMTで利用する子どもの申し送りや送迎車両が到着する時間を確認		今後も継続する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	振り返りのMTを実施、その日の特記事項、家族からの要望、連絡帳のコメントを共有		今後も継続する
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録された日報は、利用者ごとにファイリングをして保管		今後も継続する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	9月末と3月末にモニタリングと計画の見直し、モニタリングの為に会議を実施		今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が参加するが、担当のスタッフが参加をするなど状況に応じて対応をしている 会議の内容はスタッフ間で共有		今後も継続する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	利用されている子がいない		必要となった時検討をする
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	利用されている子がいない		必要となった時検討をする
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	過去に依頼なかったため実施していない 我々からも依頼をすることはなかった		要請があった時は情報共有に協力をする
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	過去にそのような機会はなかったが、依頼があった場合は情報を提供していきたい		家族に可能であることを周知し、希望された場合は協力をする
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内の事業所連絡会に児発管が参加 研修会は非常勤スタッフも含めて全員が参加できるように社内に掲示 必要に応じてスタッフを指名し参加を促す		今後も継続する
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童クラブ等との交流は今年も実施をしていないが、年齢の近い学生のスタッフとの活動やコミュニケーションの機会を持つようにした	・中学生の時は高校生、高校生の時は大学生や専門学校の方と話せる機会をいただきました 先のことを見通せたり考えることができありがたかったです ・機会がなくても良いと思います ・コロナ禍なのでよくわからない (はい6、どちらともいえない7、いいえ10、わからない23、回答なし1)	児童クラブとの交流はむずかしいが、学生スタッフとの活動機会は今後も継続していきたい
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所として地域住民を招待できるようなイベントの企画はなし 過去に地域主催のイベントに参加をしていたが去年から新型コロナウイルスの影響を考慮して、事業所として参加を見合わせている		地域のイベントには参加していきたいが、コロナ禍である状況を踏まえて検討していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の時に重要事項説明書にそって説明をしている	(はい45、どちらともいえない3、いいえ0、わからない0)	現状を継続する
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の時に支援内容を説明している	(はい47、どちらともいえない0、いいえ0、わからない0、回答なし1)	現状を継続する
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在まで企画、実施等は無し	通所して1年未満なので分からないことが多い 講演会等の案内はある (はい19、どちらともいえない8、いいえ5、わからない16)	ペアレントトレーニングの実施はむずかしいが、保護者へ向けての情報提供は今後も続けていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳を中心に情報のやりとりをしている 送迎で来所された家族には、直接状況を説明 面談が必要な場合はその都度実施をしている	(はい46、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も継続する
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	家族からの相談に対して個別に対応 定期的に面談を実施	(はい43、どちらともいえない2、いいえ2、わからない1)	今後も継続する
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会なし	・活動に参加していないので答えられない (はい7、どちらともいえない7、いいえ12、わからない22)	昨年事業所見学が企画できなかった 保護者向けの活動を引き続き検討、企画する
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情受付窓口をを設置 苦情を受け付けた際は、運営規定に沿って対応する (現時点で苦情受付件数0件)	・苦情そのものが発生しません (はい29、どちらともいえない2、いいえ1、わからない15)	苦情受付窓口の保護者への周知を継続する 苦情があった時は真摯に対応をする
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵や写真を活用しこちらの意図が伝わるように配慮をしている	(はい46、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も継続する
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日曜教室だよりを発行(毎月) 避難訓練や長期休暇中のイベントについてはその都度プリントにてお知らせ 警報発令時の開所情報はホームページの「緊急速報」を使用	ホームページを見ていないのでわからない (はい39、どちらともいえない2、いいえ2、わからない5、回答なし1)	定期的に情報の発信を継続する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	ご利用のお子様については、個人情報使用に関する同意書を保護者取り交わしている 社員には秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わしている	(はい43、どちらともいえない1、いいえ0、わからない4)	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル(感染症、危機管理)を作成し運用中。警報発令時の対応については子供用の連絡帳にプリントを添付	(はい46、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も周知徹底をする
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練(うち1回は総合訓練)と1月にシェイクアウト訓練を実施予定 保護者とは防災用のメール訓練を年1回実施	(はい42、どちらともいえない1、いいえ1、わからない4)	年3回の訓練を継続する
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止・虐待時対応マニュアルを作成、運用中 支援員全員にむけて「虐待防止チェックリスト」をつかって自己評価を実施、集計結果は所内でも検討をした		今後も継続する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援計画に身体拘束に関する内容を記載		今後も身体拘束をしない
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	支援計画にアレルギーに関する対応についての項目を追加し、家族にも確認をいただいている		今後も継続する
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所のヒヤリハットはスタッフ全員で共有 法人内でも児童発達支援管理責任者がMT内で共有 別事業所の大きな事例の場合は事業所内の会議でスタッフに共有		今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
----	--------	-----------------	--------	--------------------